

なかつか 亮



品川区には、お金も土地もあるのに、どうして？

認可保育園の増設で 待機児解消を



毎年春になると「子どもが認可保育園に入園できない」と大きな社会問題に。共産党は改めて希望者が入園できるように、認可保育園増設を品川区に求めました。品川区は「民間活力による保育園の新規開設を促進」と説明。区立認可園を待機児童対策に加えない理由を「将来的な財政負担も考慮」と答弁しました。

増設は民間まかせ

今後の認可保育園について区は「当面、乳幼児人口の増加が見られるが、いずれ減少することが予想される。当面の対策と長期的な視野での検討が必要」と述べ、増設について「民間活力による保育園の新規開設を推進し受け皿の拡大を図る」と説明します。

株式会社が運営する認可園は品川区内に11園。今後さらに増やす計画があるという一方で、区立認可園の増設計画はありません。そこで共産党は「増

設に区立を加えない理由は何か」と質問。区は「将来的な財政負担も考慮するという意味」と答弁しました。

区の貯金699億円

24年度決算で品川区は30億円の黒字。区の貯金(基金)は699億円まで増えました。

区内には売却予定の国有地が2万7千㎡あります。お金も土地もあるのに増設を民間にまかせ、来年もまた認可保育園に入れない子どもが…とは納得できません。子どもへの投資は未来への投資。増設求め頑張ります。

第3回品川区議会開催中。今回のテーマは「保育園」です。

週刊区政報告に対するご意見、ご要望お寄せください バックナンバーはHPに掲載

フェイスブック ほぼ毎日更新中! 気軽に「友達リクエスト」の送信を



「ストップ29号線 東京都と品川区は住民の暮らしと絆を守れ」 のぼり旗



「測量お断り」ポスターを玄関に。ラミネートは手作りです。



協力者を募ろうと訪問活動も活発

ストップ29号線のぼり旗 ポスター登場！大崎3丁目

まちを分断する道路建設を中止させようと、用地測量が最もはじめに実施された大崎3丁目にて「ストップ29号線」と記された、のぼり旗、ポスターが登場しました。住民同士がカンパを出し合い作成したもの。強引に進める道路計画をやめさせ、住民参加による本格的な「まちづくり」を求める声が広がっています。



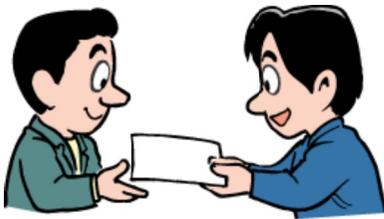
10月1日広報しながわに掲載

パブリックコメントに参加しませんか？

品川区は長期基本計画の見直し作業中で、このほど区民意見公募（パブリックコメント）が10月1日より約1ヶ月間の日程ではじまりました。テーマは区政全般。道路建設、保育園、特養ホーム、障害者施設、防災対策、環境などです。提出方法は10月1日付「広報しながわ」に掲載。メールも可能。案の全文は地域センターなど区窓口や区ホームページで見ることが可能です。〆切は10月30日まで。ちなみに29号線道路関連は105ページ「災害に強いまちをつくる」と122ページ「道路ネットワークを整備する」に計画案が示されています。あなたの意見を品川区政に！！ なかつか亮

品川区

住民



パブリックコメントとは（区説明より抜粋）

区民意見公募手続（パブリックコメント）は、政策決定過程における公正性の確保と透明性の向上、合わせて区政への区民参加を実現することを目的とし、区が策定する行政計画等の素案を公表し、広く区民の皆さんに意見を求め、提出された意見や提案を考慮して行政計画を決定していくもの。

次回の「気軽な町の無料法律相談会」のお知らせ

10月18日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
連絡先 昼：区議控室 **5742-6818** 夜：事務所 **3773-3231**